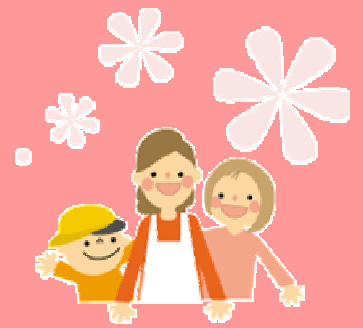


おやこ通信

第3号



子どもが元気に過ごすには、お母さんがいつも元気でなくっちゃ。子どもにとって、家族にとって、お母さんは太陽のような存在です。そこで今回は『お母さんの健康』をテーマに、「子宮がん・乳がん検診」についての特集です。

子宮がん検診

子宮がんには「子宮頸がん」と「子宮体がん」の2種類がありますが、若い女性に多いのは「子宮頸がん」です。

子宮頸がん

一般に「子宮がん検診」というと、「子宮頸がん」の検診のことです。子宮頸がんは性行為によるウイルス感染が原因だといわれています。ウイルス感染により、正常細胞から前がん状態になるのに、6カ月から数年、前がん状態からがん細胞になるのにも、数カ月から数年かかりますから、1年に1度検診を受けると安心です。たとえ前がん状態であっても、数カ月ごとに信頼できる施設でがん検診や処置を受ければ、子宮頸がんで死亡する女性はほとんどいなくなります。

子宮体がん

子宮体がんとは、子宮内膜の細胞が異常に増殖する状態の病気です。子宮内膜がはがれなくなる閉経前後（更年期）以降の女性が大多数を占めます。しかし月経不順で間隔が2カ月以上開いたり、月経後に不正出血があるようなら子宮体がんの検診を受けましょう。また、肥満、高血圧、糖尿病、未産婦に多いといわれています。

婦人科は「どうも受診しにくい」と思ってみえる方が多いと思いますが、子宮がん検診は直接子宮の細胞を採取するため、信頼性の高い検査です。1年間の安心を得るためにもぜひ検査をしておきたいですね。また、子宮頸がんのワクチン接種もはじまりました。予防と検診の2本立てで、より安心ですね。

乳がん検診

私たちが思春期を迎えた頃、胸のふくらみを感じて自分は女性だと実感した記憶がありますよね。

今、食生活や環境の変化に伴い、23人に1人が乳がんになるといわれています。乳がんは自己検診が可能ですので、自分で見つけることのできるがんでもあります。しかし、「マンモグラフィー」といわれるレントゲン検査の精度もよくなり、併せてエコーをおこなうことで、自分では分からないほどの小さながんも見つけることが可能となってきました。

子どもは家の中で悩むお母さんを見るより、元気に笑っているお母さんが大好きです。楽しく毎日を送るためにも年に1回の検診をお勧めします。

*市内の方であれば、市の子宮がん・乳がん検診を各1000円（一部例外あり）で受けることができます。日程・検診施設等、詳しくは保健センターにお問い合わせください。



お母さん、
いつも元気でいてね

お母さんの笑顔が
だ〜い好き



婦人科・外科 8月